

第5回浜田市子ども・子育て支援専門部会 議事録

日時：令和元年7月9日(火)

18:00~19:20

場所：浜田市総合福祉センター

1. 子ども・子育てに関する市民実態調査結果比較について

～事務局説明～

<部会長>

質問や意見はあるか。

<副部会長>

貴重な報告ありがとうございます。

データそのものではなく政策として教育関連や相談関連等の認知度が前回よりも低くなっている。何か市としての変化があったのか。

問30で子どもの年齢を教えてください。

<事務局>

数値が低くなっているところについて、3、4年前から子育てガイドというものを作成したりして、周知しているつもりなので、低くなっていることにはショックを受けている。

年齢については0歳が1人、2歳が2人、それ以外は3歳以上となっている。きょうだいがいらっしゃるのとお兄ちゃんお姉ちゃんが看ていた可能性もある。

<委員>

9名中2家庭がシングルでシングルの方のSOSを浜田市としてどのようにフォローしているのか。ファミサポに入ってくださいなどの声かけはできているのか。

<事務局>

一般的にはなにかあれば子育て支援課にあればご相談くださいと強くお願いはしていたり、なにかあったときは保健士が訪問することとしているが、広くどの世帯にも手が届くような支援は今のところやってはいない。

補足となるが、先ほどの一人っ子で3歳のお子さんをひとりで留守番させてしまった家庭に関して、近所に親類等はおらず、緊急時のみ祖父母等に預かってもらえるという回答となっていた。

<委員>

浜田市の女性の職場として、24 時間介護職についてらっしゃる方もいると思う。
そういった方には無料の支援の提供なども必要なのではないか。

2. 第 2 期計画策定指針のポイントについて

～事務局説明～

<部会長>

質問や意見はあるか。

<委員>

国の指針に合わせることにギャップがでてきている。国の指針を踏まえつつ、その上をいかなければいけない。もっと寄り添ったしっかりした指針がほしい。幼児教育センターにもそういった方が配置されたが、教育保育の質のガイドラインなどをつくって、これから5年間の計画を本当に子どもの成長発達を入れるべき。本当に豊かな放課後の過ごし方など、のびのびとした子ども時代をすごせる質の部分をしっかりとして検討に入れていただきたい。

3. 第 2 期子ども・子育て支援事業計画構成案・施策体系案について

～事務局説明～

<部会長>

質問や意見はあるか。

<副部会長>

社会的養護や児童虐待防止に関わるのはどの部分か。

<事務局>

基本目標 2 の中に内容を加えていく予定である。

4. 量の見込みの算出について

～事務局説明～

<部会長>

質問や意見はあるか。

実際の値に基づく算出ということではあるが、現場に携わっておられる状況から見

てどうか。

<委員>

実際出生数はいくらか。

<事務局>

現在 374 人で 3 年前から 400 人を切っている。2 ページにある 0 歳児の推計数が近い値にあると思う。

<委員>

実際子どもが減っているのは事実であるが、利用は反比例で増えているのも事実。長時間働かれる方も増えている中で、ひとり親家庭が多くなっており、現場としてもそういった方と関わることで、書類上そうでなくても、事実上すでにそういう環境の方も大変多くなっている。そのような現場でしかわからない状況もあるので、また協力させていただければと思う。

保護者に向けて制度なり相談場所が会の中で決定していくが、利用される方に伝わらないと意味がない。保育園や支援センターを経由してでも伝わっていくようお願いしたい。

数字も細かいところをつめていけば、いろいろ課題もあるかと思う。協力させていただければと思う。

<委員>

うちの園でしか話せないが、保育時間が長くなっている現状である。18 時までの方が多く、園児も増えている。現場も大変になっている。

預かり保育が増えており、支援センターを利用される方の預かりもある。お母さん方も大変になっているのを感じる。仕事が遅い場合もあるが、早く帰ると子育てが大変だからと預けられている状況もある。

<委員>

ニーズの算出をみさせていただいたが、浜田市として必要なものを話さないといけない。市としてどのようにお考えか。

<事務局>

それも含めてこれから考えていこうとしている。なかなか公立、私立、幼稚園、保育園などあるなかで全体のバランスをとって考えていけばよいか、皆様のご意見をい

ただければ助かる。

<委員>

浜田市としてどのような意見をもっているのか示していただきたい。

<事務局>

また改めてお示しする。教育前の子どもたちが希望通り行けるかたちでいけないと思っている。どの園に何人という量的なものよりも、就学前の子どもたちをどうやっていくのかを示していく必要があると思っているのでそこをもう少し練らせてもらいたい。

<委員>

人数の配分ではなく、「円滑な接続」といった記載もあるが、具体的に何をすることが見えてこないなので、話が難しいと思う。

<事務局>

取組の例について、おっしゃっていただいたかと思うが、今後具体的な内容について詰めていきたいと思う。

<部会長>

今回の構成や体系案の内容を練って、計画案を出していただくときに皆さんからの意見を出していただければと思う。

5. 今後のスケジュールについて

～事務局説明～

<部会長>

質問や意見はあるか。

<委員>

歯科医の立場では、特に意見がない状況。個人の意見では、子育て支援センターの話があったが、市の予算ではすごい予算なので、何をどのくらい予算をかけて作るのか、この部会で話していると、子育て支援センターにしか使えない。これから浜田市でシニアがたくさん出てきて、その方の生きがいづくりや、居場所づくりなどの一つ

の施設にならないのかとか、そういったのがどこで話をされるのかと思っている。今回の計画の中にも地域における連携の推進というのは入っていたが、こういったものは誰がどこで話をしたらそういうふうになるのか疑問を持っている。意見を出しようがないのだが、この部会が淡々と国の指針を報告して冊子を作って終わりということではない場になるようにお願いしたい。

<事務局>

一応こういった会をするにあたって、いろいろな立場から集めさせていただいたが、組織の立場からとしての意見も、個人としての意見も両方発言いただけたほうが大変助かる。会議以外にもキャッチボールをしながら計画を作っていけたらと思う。

帰って気づかれたことや会議内で発言しにくいことがあれば、後日でも、こういった形でも構わないのでご意見いただけたらとありがたく思う。

支援センターについては、かねてより立て直しの話があったため、その話をさせていただいたが、経緯を説明せず申し訳なかった。

いろいろと思いはあろうかと思うが、今後ともよろしくお願いしたい。

6. その他

<部会長>

会議の資料はできるだけ事前に送っていただければと思う。